

分類	No.	チェック項目	基本	チャレン ジ	具体的な取組み (※事業者が記載する欄)	主なSDGs(17のゴールと169のターゲット)																
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
																						
組織・公正な取引	1	【内部管理体制】 ・経営理念及び経営目標を社内でも共有、実践している。	●		・病院理念を明文化し、管理者は病院の目指す姿を職員に説明し共有している。 ・病院の目指す姿の実現に向け、取り組む文化が形成されている。								8	9								17
	2	【法令遵守】 ・法令遵守の考えが社内に浸透し、法令を確実に遵守する体制・仕組みを構築している。	●		・就業規則に法令順守の規定があり、入職時に説明をしている。 ・各部署および電子資料などで法令順守の重要性を発信している。 ・全職員対象に研修を実施し、啓発を行っている。																16	
	3	【公正な競争】 ・不正競争行為に関与しない方針を掲げ、社員に周知している。	●		・病院として公正な取引に取り組んでいる。 ・物品購入規定等があり順守している。 ・医療行為に係る倫理・安全面からの問題を審議している。										10						16	
	4	【組織体制】 ・企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対応する担当や専門部署などの体制を整備している。	●		・担当者及び担当役員を任命している。 ・病院の事業活動が、社会・環境に及ぼす影響を把握している。																16	
	5	【知的財産保護】 ・知的財産の保護に取り組んでいる。	●		・知的財産に関する侵害排除について配慮している。 ・就業規則に法令順守の規定があり、入職時に説明を実施している。 ・「福田病院 知的財産取扱い方針」の策定について検討する。								8.2 8.3	9							16	
	6	【個人情報保護】 ・個人情報を適切に管理している。	●		・院内に規定あり、入職時に個人情報保護の説明を行い同意を得て業務を行っている。 ・全職員を対象とした研修を開催し、具体例をあげ情報漏洩防止を徹底している。																16	
	7	【ステークホルダーとの対話】 ・ステークホルダー(※)との対話により、自社の活動がステークホルダーに及ぼす影響を把握し、適切に対応している。(※利害関係者:消費者、投資家等及び社会全体)	●		・定期的な患者アンケートの実施、ご意見箱・患者様相談窓口・ホームページ・SNS等への対応など、患者の意見を尊重し、双方向コミュニケーションに取り組んでいる。 ・行政、学会、医師会、地域の医療機関などの情報交換を行っている。																16	17
	8	【サプライチェーン管理】 ・サプライヤー、事業パートナー等と、人権侵害の防止、生物多様性や生態系への悪影響の防止、倫理面での適切な対応(ハラスメント・汚職・贈収賄防止)について認識を共有し、共に取り組んでいる。		●	・取引先の活動に関心を持ち、対話に取り組んでいる。 ・有機栽培や地産地消をはじめとした環境や健康への配慮など、問題意識の共有に取り組んでいる。 ・物品購入に関する規程に基づき、公正に対応している。					5			8		10		12	13	14	15	16	17
	9	【災害や事故への備え】 ・地震や水害などの自然災害や事故などに備え事業継続計画(BCP)を策定し、訓練や見直しを行っている。		●	・BCPマニュアル・災害マニュアルを策定している。 ・定期的に防災・避難訓練および救急・死戦期帝王切開シミュレーションを実施している。 ・非医療従事者を対象にBLS研修を実施している。									9		11		13.1			16	17
	10	【事業承継】 ・事業承継に関する検討・対策を行っている		●	・従業員の指導・育成により、後継者の検討・対策を行っている。								8	9								17
労働・人権	11	【公正な貿易】 ・フェアトレード商品の調達に取り組んでいる。		●	・年に1回フェアトレード商品に限定した購入イベントを実施している。 ・社内誌でフェアトレードの周知を実施している。	1	2			5			8				12	13	14	15	16	17
	12	【差別の禁止】 ・性別、年齢、障がい、国籍、出自などによる差別や各種ハラスメントを防ぐ体制が整備され、社内で差別や人権侵害がないことを確認している。	●		・差別や各種ハラスメントの禁止について、就業規則、患者様の権利を規程し取り組んでいる。 ・差別やハラスメントに関する研修を実施し、相談窓口を設置している。 ・臨床倫理委員会をはじめ、倫理的問題事項を検討するシステムがある。 ・熊本県男女参画推進事業者の表彰を受けている。				4.3 4.4 4.5	5.1 5.2 5.5			8.5 8.7 8.8		10.2 10.3						16.1 16.2 16.7	
	13	【労働安全衛生】 ・業務中の事故等を防ぐため、安全で衛生的な労働環境の整備に取り組んでいる。	●		・メンタルヘルスを確保するために、アンケートやストレスチェック調査、安全衛生委員会の活動により全職員への教育や啓発活動を実施している。 ・高ストレス者および希望者向けに外部産業医または産業保健師による面談を実施している。			3					8.8									
	14	【公正な待遇】 ・雇用形態に関わらず、同一労働同一賃金等の原則に沿って対応している。	●		・ハラスメント防止を定め、すべての職員が職場での尊重と支援を受けられる。 ・労働環境の改善を実施している。 ・労働時間、休暇、育児休暇などの労働条件を適切に管理している。 ・職員のスキルアップやキャリア開発を支援し、継続的な学習の機会を提供している。					5.5			8.5		10.2 10.3							
	15	【ワークライフバランス】 ・働き方の見直し等により、過度な長時間労働を防止し、家庭と仕事の両立を図るためのワークライフバランスを推進している。	●		・ワークライフバランスの達成を目指し、残業時間の管理や、業務効率化による労働時間の短縮など働き方改革に取組み、有給休暇などの取得奨励を実施している。			3		5.5			8.5 8.8		10.3							
	16	【人材育成】 ・適切な能力開発、教育訓練の機会を従業員に提供している。	●		・研修の必要経費の支給により、外部研修の受講や各種資格の取得を奨励している。 ・所属長による目標評価面談により人材育成を行っている。				4	5.5			8	9								
	17	【健康経営】 ・従業員が心身ともに健康を維持できるよう対策を講じ、生産性の向上等に取り組んでいる。	●		・産業医および産業保健師による特定保健指導を含め、健康増進への取組みを行っている。 ・健康診断、インフルエンザ予防接種の経費補助、新型コロナウイルス感染症の抗原検査などを行っている。			3					8									17
	18	【ダイバーシティ経営】 ・多様な人材(女性、外国人、障がい者、高齢者等)が、十分に活躍できる環境の整備に取り組んでいる。	●		・業務運営や昇進・昇格等に、人種、性別などの違いによる差別的待遇はない。 ・障がい者、高齢者を雇用している。				4.4	5.1 5.5			8.5		10.2 10.3						16.7	
	19	【新しい生活様式への対応】 ・新型コロナウイルスをはじめとする感染症対策としても有効なテレワークや時差出勤、ウェブ会議等を導入している。		●	・新型コロナウイルス感染症対策会議を定期的に行い、感染対策を実施している。 ・WEBでの会議や研修を導入している。			3					8	9.1		11	12					
	20	【デジタルトランスフォーメーション(DX)の推進】 ・ICTやAIを活用したデジタル化やオンライン化等のDXの推進により業務の効率化やビジネスモデルの変革に取り組んでいる。		●	・再来受付機・自動精算機導入によりICTを活用した業務改革に取り組んでいる。 ・タブレット問診システムを導入している。 ・熊本メディカルネットワークの利用、オンライン診療などで効率化および災害・新型コロナウイルス感染症対策を実施している。								8	9.1		11	12					
	21	【プライト企業】 ・プライト企業に認定されている。		●	・プライト企業に認定されている。			3	4				8	9			12					

更新		SDGs達成に向けた取組みチェックリスト		事業者名: 社会医療法人愛育会 福田病院		基本項目は25項目全てに、チャレンジ項目は25項目のうち5項目以上に具体的な取組みを記載してください。 「企業」や「社内」とあるものは、NPO法人や個人事業主等はそれぞれの形態に応じて、読み替えてください。 【予定】の項目は1年以内に【〇年〇月実施】として、具体的な取組みを記載のうえ、提出してください。(様式第2号)																
分類	No.	チェック項目	基本	チャレン ジ	具体的な取組み (※事業者が記載する欄)	主なSDGs(17のゴールと169のターゲット)																
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
環境	22	【環境汚染予防】 ・廃棄物や有害化学物質の適切な管理、及び処理に取り組んでいる。	●		・感染性廃棄物や指定薬品を把握し、適切な管理及び処理に取り組んでいる。			3.9			6.3					11.6	12.4		14.1	15.1		
	23	【エネルギー】 ・電力やガソリンなど、自社のエネルギー使用量を把握し、その削減に取り組んでいる。	●		・照明のLED化やデマンドコントロールシステムの導入している。 ・電気使用量について、2022年度比5パーセント削減の節電に取り組む。 ・【予定】2026年1月までに、簡易計算シートなどを用いてエネルギー使用量の算出を行う。							7.3					13					
	24	【温暖化対策】 ・自社の温室効果ガスの排出量を把握し、排出の抑制に取り組んでいる。	●		・みずてまり(街なか親水施設・ドライミスト)を設置し、夏期間間は打ち水を実施している。 ・壁面緑化に取り組んでいる。 ・【予定】2026年1月までに、簡易計算シートなどを用いてCO2排出量の算出を行う。		2.4					7.2 7.3 7.a				12.4	13	14	15			
	25	【生物多様性】 ・自社活動が環境(生物多様性や生態系等)に悪影響を及ぼさないように配慮している。	●		・敷地緑化により、生物の生息・生育地の保全に取り組んでいる。 ・全職員において廃プラやレジ袋などの使用削減に取り組んでいる。						6.6							14	15			
	26	【効率的な資源利用】 ・ごみを減らし、資源を有効的に繰り返し使うため、発生抑制(リデュース)、再使用(リユース)、再生利用(リサイクル)に取り組んでいる。	●		・ごみの分別、リサイクル(紙、ビン・カン、ペットボトル)、リユース(トナー、カートリッジ)に取り組んでいる。 ・再生紙を利用したペーパータオルを使用している。 ・議事録の電子化、裏紙の利用によるペーパーレス化に取り組んでいる。 ・調理工程で出る野菜くずの堆肥化を実施している。									9.4			12.2 12.4 12.5		14.1	15		
	27	【水の管理】 ・熊本の水資源の質と量の保全に取り組んでいる。	●		・職員および院内利用者を対象に、節水についてポスターや院内新聞で周知している。 ・敷地内の井戸水を一部施設の冠水用としている。 ・汚水等の適切な処理を実施している。		2.4				6.1 6.3 6.4 6.6 6.b					11.5			14.1 14.2 14.3	15		17
	28	【環境に配慮した製品等】 ・環境に配慮した製品の購入や製品の開発・製造に取り組んでいる(グリーン購入、リサイクル製品認証等)。	●		・廃油で石鹸を作り院内洗濯への利用やバザーでの販売を行っている。 ・有機栽培の農産物の購入を推進している。									9.4			12.4 12.5	13	14	15		
	29	【食品ロスの削減】 食品ロスの削減に取り組んでいる。		●	・栄養サービス部において廃棄された食事を記録し、メニューの改善に取り組んでいる。 ・患者に必要な栄養教育を実施し、食の興味・関心を高め、残菜減少を推進している。	1	2				6.4						12.3		14	15		17
	30	【緑の保全管理】 ・壁面緑化や植栽など緑の創出と保全、管理に取り組んでいる。		●	・建物の壁面緑化や敷地の植栽に取り組んでいる。											11.6 11.7		13.1 13.3		15		17
	31	【エネルギー効率の見直し・再生可能エネルギーの利用】 ・高効率機器の導入等によるエネルギー使用率の改善またはや再生可能エネルギーの利用や供給に取り組んでいる。		●	・エアコンの温度設定の徹底をはじめとした節電に取り組み、照明のLED化に取り組んでいる。							7.1 7.2 7.3 7.a		9.4		11.5		13.1 13.3				
	32	【森林資源の循環利用に向けた取組み】 ・「伐って、使って、植えて、育てる」の持続的な森林利用への取組みを推進している。		●	・熊本県木材利用大型施設コンクール受賞施設である。 ・熊本県産材の利用を推進している。						6			9.4		11.3 11.4 11.5	12.2	13		15		
	33	【植林等の取組み】 ・植林等の森林整備活動に取り組んでいる。		●							6.1 6.3 6.6					11.3 11.4 11.5	12.2	13		15		
	34	【海洋ごみ】 ・環境中で分解しにくいプラスチックの使用削減等、海洋ごみ、海洋汚染の防止削減に貢献している。		●													12.2 12.5		14			
	35	【環境に配慮した交通手段】 ・電車やバスなどの公共交通機関の利用や、電気自動車や水素自動車などの環境にやさしい自動車の使用を促進している。		●	・当院利用者へ公共交通機関利用を促進している。 ・交通費の支給、二輪車の駐輪場の拡充により、公共交通機関、自転車等での通勤の促進に取り組んでいる。									9.4		11.2		13.1 13.3				
	36	【2050年CO2排出量実質ゼロへの取組み】 ・2050年CO2排出実質ゼロを目指し、計画的にCO2削減に取り組んでいる。		●								7.1 7.2 7.3 7.a		9.4		11.6 11.a	12.8	13				17.2

分類	No.	チェック項目	基本	チャレン ジ	具体的な取組み (※事業者が記載する欄)	主なSDGs(17のゴールと169のターゲット)																
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
																						
製品・サービス	37	【製品・サービスの安全性と品質】 ・製品・サービスの安全性や品質を確保する仕組みを構築している。	●		・医療安全管理委員会を頂点とした安心安全な医療提供のシステムがある。 ・提供する医療サービスの質を確保するために、患者相談窓口やアンケートの実施などにより患者の意見を聞き、関係者で共有、活用している。 ・合同症例検討会により多職種での症例検討を実施している。			3.9						9			12.4					
	38	【ユニバーサルデザイン】 ・障がい者、高齢者に特定せず、誰もが利用しやすいサービス提供や環境整備を行っている。	●		・施設は妊産婦、乳幼児、車いす利用者に配慮している。 ・トイレや授乳室など、初めての来院者にわかりやすい案内表示に対応している。									9.1	10	11.7						17
	39	【地域資源】 ・地産地消を推進し、熊本県産の原材料を優先的に使用している。		●	・熊本県農産物を入院患者の食事において使用している。 ・山都町および水上村に自院の農園を保有し収穫された有機認証米を使用している。 ・生産者と連携し、県産の農産物の利用を促進し、くまもとグリーン農業を応援している。		2.3 2.4					7.3	8	9		11.a	12.3	13	14	15		17
	40	【木質化の取組み】 ・自社の執務室等の天井や床、壁等の内装や外壁等に木材を使用し、木質化を推進している。		●	・建物の内装・外装に木質化を推進している。 ・熊本県木材利用大型施設コンクール受賞施設である。							7					12.2	13.1		15		
	41	【社会課題解決】 ・社会課題を解決するための製品・サービスの開発・展開に取り組んでいる。		●	・児童虐待予防のための熊本県産前・産後母子支援事業を受託している。 ・助産施設および特別養子縁組事業の許可施設である。 ・中高生妊娠相談を実施している。 ・健やか親子21第9回健康寿命をのぼそう！アワード母子保健分野優良賞を受賞している。	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
	42	【攻めの農林水産業】 ・地域における産学官連携等による新たな品種開発を促進するなど、地域レベルで農林水産業の生産能力向上に努めている。		●			2.3 2.4						8.2	9.2 9.4		11.a	12.2		14	15		17
持続可能な社会・地方創生	43	【地域への参画】 ・自治活動や福祉活動、防災活動や寄付、ボランティアなど社会貢献活動に積極的に取り組んでいる。	●		・全職員が一丸となり、児童健全育成・虐待防止活動を実施している。 ・YMCAフィランソビー活動を支援し、いのちの電話の寄付自動販売機の設置、おぎゃー献金活動等を実施している。 ・地域文化の保全・継承・交流を目的とした「地域文化交流館 寿心亭」を一般市民に開放し、地域のえんがわ事業を実施している。 ・新町獅子保存会、熊本城城下町精霊流し市民の会など地域の文化活動に参画している。	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
	44	【防災、減災、レジリエンス(自助)】 ・過去の地震や水害などの災害を教訓に、事業への被害を防止・軽減するため、ハザードマップを確認し、避難行動計画や事前防災対策を進めている。	●		・新館は免震構造、本館は耐震構造であり、事前防災対策・避難行動計画などを策定、定期的に防災・避難訓練を行っている。 ・熊本市ハザードマップを踏まえたBCPを策定し、院内に防災品や備蓄品を常備している。				4							11.5		13.1			16	
	45	【防災、減災、レジリエンス(共助)】 ・地域防災の担い手としての認識を持ち、防災士、水防団員、救助救急等の必要な技能を持つ社員を育成したり、地域消防団の活動に参加している。		●	・平時より熊本県内の周産期医療機関と連携し、災害時には熊本県地域周産期母子医療センターとして機能を果たしている。	1.5		3	4						10.2	11.5		13.1			16	17
	46	【防災関連商品の開発・販売】 ・防災関連商品の開発・販売を促進している。		●	・母子に係る防災情報を案内しており、いいお産の日のイベントにおいて防災用品の紹介を行っている。									9		11	12	13.1				
	47	【SDGsの普及啓発】 ・環境問題や人権問題をはじめとした社会課題の解決に向け、SDGsの普及啓発や教育機会の提供を行っている。		●	・ホームページにSDGsへの取り組みを掲載している。 ・職員の名刺、社員証にSDGsマークを表示し、普及啓発の意識向上に取り組んでいる。 ・職員へフェアトレード商品の販売について案内を実施している。 ・SDGs推進を看護部理念、基本方針に謳っている。 ・社内誌でフェアトレードの周知を実施している。	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
	48	【インターンシップ等の受入れ】 ・職場体験、インターンシップの受入れ、職場関連授業の実施など、地域の児童や学生に対し、職業の学びの場を提供している。		●	・中学生、高校生の職場体験、医療、助産、看護、医療事務、栄養士、歯科衛生士など学生や研修生の実習、インターンシップを受け入れている。 ・性教育出前授業を実施している。				4				8.6		10.2							17
	49	【若者の地元定着等】 ・若者の県内就職を促進する取組みを行っている。		●	・県内の専門学校を中心に求人活動を行い、地元の生徒、学生を積極的に雇用している。 ・職場内での看護師・助産師進学時の奨学金を支給している。				4.4				8.5 8.6									17
	50	【農林水産業の担い手確保】 ・子どもに対する農林水産業教育を行うなど、地域における農林水産業従事者の確保に取り組んでいる。		●	・自院で保有している「母と子の農園」において、毎年当院で誕生した小学1年生を対象に田植・稲刈を体験する食育活動を実施している。 ・地元の農産物を通した食育に取り組んでいる。		2		4.3 4.4 4.5				8.6		10.2		12	13	14	15		17